

所信

55周年実行委員長

服部高志

#### <55年の感謝・伝統・誇り>

1963年4月10日、このまちを愛する志高き56名の青年により、日本で第243番目の青年会議所として「津島青年会議所」が誕生しました。1978年に社団法人格を取得し、1991年に津島市に枠をとどめず広域運動を視野に入れ「社団法人海部津島青年会議所」へと名称変更をおこない、2012年には一般社団法人格の取得を経て、本年「一般社団法人海部津島青年会議所」は創立55年目を迎えます。

まちづくり、ひとづくりを軸とした類稀なる事業を開催し変革の能動者として伝え残してこられた先人たちによる志の足跡に深く敬意を表するとともに、様ざまなご縁で繋がった地域の人びとや各行政・関係諸団体の皆さまのご理解ご協力に心から厚く感謝申し上げます。

今こそ現役メンバーは、胸に手を当てて、55年という数字が何を意味しているか考えるべきだ。いうまでもなく、JC運動の不変かつ崇高な理念「明るい豊かな社会の実現」を胸に秘め、いつの時代も明確な目標と揺るぎない信念を抱き、海部津島地域の未来のことを思い失敗を恐れず果敢に挑戦してこられた先輩諸氏が築きあげた歴史と伝統であるに違いない。これまでおこなってきた海部津島9行政区合併取組運動や、ローカルマニフェスト型公開討論会の開催など、時代を先読みし理想に向かって強く信じ運動を起こしてきた過去から、我われ現役メンバーが学ぶべきことは多い。なによりも、失敗を恐れず運動を起こし続けてきた先輩諸氏の姿そのものが我われの誇りであり、一般社団法人海部津島青年会議所が地域社会に変革を起こす団体であり続けるために、55周年を期に足元を見つめ直し更なる成長を遂げる。

#### <LOMの魅力発信>

55周年を迎えるにあたり当青年会議所の歴史を振り返り、創始の志に想いを馳せて、これまでご協力いただいた行政・各種地域団体、先輩諸氏へ感謝の意を表します。また50周年に住民主導型社会の更なる推進を図ることを目指し策定された行動指針と宣言文 ONE FOR ALL宣言を改めて全メンバーで紐解き、これまでの成果を探求・検証するとともに、海部津島に住み暮らす人々の「自分のまちは自分がつくる」という自立の精神をこれまで以上に醸成することを目指し、2022年（創立60周年）までの中期ビジョンを策定し発信します。

青年会議所が地域住民に意識変革を促す手段は紛れもなく事業である。つまり、事業への参画誘導が出来なければ何も生まないのだ。我われの最大の弱点である、広報・発信の手法

に改めて目を向けたとき、現代型の情報発信ツールであるホームページやSNSの活用方法を再考するとともに、マスメディア・行政・各種団体などとの新たな連携を構築していくことが急務である。同時に青年会議所という学び舎から卒業された我われの活動をいつも近くで支えてくださる先輩諸氏との更なる交流を図ることこそが、LOMの魅力を増幅させる足掛かりであると信じ新たな取り組みに挑戦します。

#### <虹色に輝く海部津島の創造>

海部津島地域は、木曾三川の恩恵を受けながら水郷地帯に育まれた豊かな自然を有し、長い歴史を誇る津島神社や甚目寺観音などの旧跡が数多く存在する。七宝焼きや金魚、蓮根をはじめとする様々な特産品や、尾張津島天王祭をはじめとする伝統行事も数多い歴史文化が溢れる地域である。また、日本の航空宇宙産業の拠点や、中部地方の物流の拠点も存在し、名古屋市に隣接する地域ではベッドタウンとして発展を遂げている。平成の大合併が進んだ2000年以降、この地域においても市町村が地方自治の主役となって地域に即した施策を展開していくべきとの考えから中核市運動が進められ、1市12町村あったこの地域は4市3町村となった。

当青年会議所は、津島市・愛西市・弥富市・あま市・大治町・蟹江町・飛島村の7行政区をエリアとして活動する日本青年会議所のなかでも類稀なLOMである。我われに課せられた使命いわば我われの存在価値は、海部津島の括りで結集したメンバーだからこそ描ける未来を創造することであり、互いの長所を活かし合い短所を補完し合うための地域間連携の要となって海部津島地域が共に発展し、住民が共に成長し合うことができる新たな価値観を創造することである。各地域の魅力を知り課題を模索し、住民と協働で理想像を描き実現に向けて果敢に取り組むことで「自分たちのまちは自分たちでつくることができる」という自立した住民意識変革のうねりを起こし、笑顔と誇りに満ち溢れた海部津島を創造してまいります。

少年が青年になった将来、出身地は？と聞かれたとき、笑顔で誇らしく「私の出身地は海部津島です」と答える未来があることを信じて。

#### <おわりに>

55周年という節目の年を、メンバーが真のJAYCEEとなる絶好の機会と捉え、先人たちが紡いでこられた縁に感謝し、心を一つに猛勇果敢に挑戦してまいりましょう。この団体の歴史を振り返り、未来へ繋ぐために一年間を通して海部津島住民の自立心を育むことから、この地域を誇らしく想う人びとで溢れかえる虹色の海部津島を創造してまいります。